

	団体名	1. 2021年度建設キャリアアップシステムの目標 (団体としての目標内容、目標が未設定の場合はその理由)	目標 設定
1	北海道空調衛生 工事業協会	北海道空衛協会は未設定です。 ※理由 平成20年度北海道開発局営繕部が機械設備工事において初のCCUS活用推奨モデル営繕工事を発注しました。 今後、令和5年のCCUS本格運用に向け、地方公共工事においてもCCUS加入促進を図るための具体策が取り組まれるものと想定されますので、北海道、札幌市が策定している「建設産業活性化プラン」に具体的取組として盛り込まれた段階で対応方針を検討していきたいと考えています。(札幌建設産業活性化プラン推進委員会に当会役員が参加しています)	
2	青森県空調衛生 工事業協会	なし	
3	岩手県空調衛生 工事業協会	団体の目標としては未設定 事務局の試案段階の目標として検討中 事業者登録目標 会員(賛助会員除く)79社中24社(30%) 技能者登録目標 会員(賛助会員除く)79社の技能者の50%	
4	宮城県空調衛生 工事業協会	目標「社員の事業所登録を15社に延ばすよう社員啓発を継続する」 社員52社中現在の事業者登録は7社にとどまっている。実際稼働している現場も多くはなく登録することにメリットを感じてない社員企業がほとんどである。 少しでも多くの社員会員企業が、まずは事業所登録をしてスタートできるよう啓発活動を継続して行くことにした。せめて現行の倍以上ということで15社の登録を目標とする。	○
5	東北空調衛生工 事業協会	目標は未設定です。 当協会会員の主力が副企業会員(本社が東京もしくは大阪)の為、本社からの指示で活動するケースが多いと考えている為です。	
6	秋田県空調衛生 工事業協会	当団体としての目標は未設定です。 2019年4月から全国で運用が開始された建設キャリアアップシステムですが、現時点では中央・地方を問わず、まだ十分に運用が浸透していない。 当会員企業の係わる秋田県内の公共工事においては、中央大手・地元企業の共同企業体の大型工事でもカードリーダーが設置される現場は無い。 また、中央大手が元請の民間工事において、同システム登録を求められるという話は有るがこれは稀で、大半は同システムが話題に上がることは無いときいている。このように、同システムの「認知度」及び「運用度」はともに低過ぎて、協会が運用目標を設定し、会員企業へ目標達成に向けたお願いができるような状況にはないと考えている。 今後、同システムの運用が活発になる兆しがあれば、その時が目標を設定し、達成に努めるタイミングであると思っている。	
7	山形県空調衛生 工事業協会	・現在のところ目標は設定されていません。 ・協会会員及びその従業員の加入状況の把握並びに協会としての今後の具体的な対応について検討が必要と考えております。	
8	福島県空調衛生 工事業協会	未設定 理由：10月末開催予定の理事会にて目標の設定について協議予定のため。	
9	茨城県空調衛生 工事業協会	・技能者登録：2021年度の技能者登録目標は75%を目指す。 (2020.12.23付 技能者233名中 175名) ・事業者登録：2021年度の事業者登録目標は60%を目指す。 (茨空衛会員 33社中 20社)	○
10	栃木県設備業協 会	スローガンで、週休二日制の実現など「働き方改革」に取り組むことや若手技術者・技能者の確保・育成に努めることを掲げ、会員と共に取り組んでいる。 団体としての具体的な取組は、栃木県県土整備部へ概成工期を要望し、昨年度から一定の工事について明示され発注されている。併せて4週8休や現場条件に即した工期の設定や平準化について要望している。	
11	群馬県機械設備 工業会	目標未設定 5月末時点での本県の登録数は1,369社、5,835人で、事業所登録率は約18.5%。本県の建設業協会会長の地元支部では、登録料やカードリーダー設置費用を支部(地域組合)で全額拠出するといった取り組みが行われ、協会員(土木・建築)を中心に徐々に対応は進んでいる。しかし、設備業界では未だ様子見の状況。 但し、本県県土整備部より、CCUS工事発注168件以上との2021年度予算執行方針が示され、今後の展開が注目される。	
12	埼玉県空調衛生 設備協会	・協会として目標は未設定 ・現在のところ各社で対応	
13	千葉県空調衛生 工事業協会	団体(千葉空衛)としての目標はありません。今のところ、会員に国からの情報を周知するぐらいです。理由は特にありません。	
14	東京空調衛生工 業会	・未設定ですが、10月の所管委員会で協議予定です。	

	団体名	1. 2021年度建設キャリアアップシステムの目標 (団体としての目標内容、目標が未設定の場合はその理由)	目標 設定
15	神奈川県空調衛生工業会	(1) 目標 未設定 (2) 理由 ① 技能者を雇用している会員が少ないこと。 ② 1月の調査において、県内に本社がある会員のうち、CCUSの事業所登録の予定がない会員が約3割いる。 ③ 現時点では、建設現場の元請となる例が少ない。	
16	長野県空調衛生設備業協会	目標は設定していません。建設キャリアアップシステム対応現場が県物件しかありません。各社各々での対応です。国の物件は数が少ない。民間工事で対応されている建設会社はほとんどありません。	
17	新潟県空調衛生工事業協会	(1) 事業者登録 会員企業の5割の事業者登録を目指す ※補足：現在8社→目標28社以上 (2) 技能者登録 会員企業の技能者200人以上の登録を目指す ※補足：現在102人→現状+100人 (3) 就業者履歴登録数 目標設定は行わない ※理由：元請現場でのカードリーダーの設置については、日空衛でさえ限定された大型工事の一部への設置にとどまる中、当協会が目標設定するには時期尚早	○
18	富山県空調衛生工事協同組合	*登録している業者の割合が25%で有るのが現状です、少なくとも35%（5社）以上を目標にするための周知活動をする。 富山県の組合員よりの現況意見； ・国土交通省の発注工事がほとんど無いため必要性が普及しない。 ・県市の指導や活動がない。 ・中小ゼネコンへの普及啓発がおくれている為、設備業者も認識がない。 ・利用料金の値上げが普及促進の妨害となる。 ・システムの登録業者としてのメリットが見えない。	○
19	石川県管工事協同組合	団体としての目標設定はしていない。 厚生労働省から「建設キャリアアップシステムの普及促進の取組に対する建設関係助成金による支援」を活用してCCUS加入のきっかけにできないか検討中。	
20	福井県管工事設備工業協会	目標未設定 福井県内においては、キャリアアップシステムの活用事例がほとんどないこともあり、会員企業の同システム活用についての積極的な姿勢も見られない状況であるため、具体的な数値目標の設定は困難である。	
21	岐阜県設備工業協会	・団体としての目標 ⇒ 未設定 ・未設定の理由 現実的には、「制度の内容」、「その必要性」等に関する認識がないため、なかなか進まない状況である。 ⇒ 県の対策 ① 工事成績の加点 ② カードリーダー設置費用への助成 ※新規のみ 1台分として3万円	
22	静岡県管工事工業協会	目標は未設定です。キャリアアップ通信、他に関する情報は会員へお知らせしております。登録は必要な状況になれば、自ら申請すると思われれます。	
23	愛知県空調衛生工事業協会	目標・・・特になし 理由 次の要請がありますが、体制、経費が伴っていません。 また、指導する立場でもありません。 国土交通省土地・建設産業局長 令和年4月1日 建設業者団体へ 建設キャリアアップシステムの活用（要請） （内容）・・・一部抜粋 官民施策各種施策を推進し、早期の効果発現を期する観点から、各建設業者団体におかれては、会員企業による建設キャリアアップシステムの活用等が進められるよう、会員企業に対する周知徹底をお願いします。 (1) 各建設業者団体の会員企業において、早期に事業者登録及び技能者登録を進めること・・・情報を会員へ周知している。 (2) 会員企業が元請として工事を受注した場合には、建設技能者による適切な就業履歴の蓄積を阻害しないよう、カードリーダーの設置、現場・契約登録、施工体制登録を行うとともに、その工事に従事する下請事業者に対して施工体制への事業者及び技能者登録を行うよう指導すること・・・情報を会員へ周知している。 (3) 会員企業において、建設技能者による建設キャリアアップシステムの会員登録が進むよう、セミナーや説明会等、様々な機会を捉えて、建設キャリアアップシステムの意義や必要性等についての理解促進に努めること・・・セミナーなど開催にあたって講師や費用面の問題がある。 (4) 実際にシステムを利用することを通じて効果の把握や理解の浸透が進むよう、引き続き、モデル工事の実施や現場見学会等の取組を積極的に進めること ・・・モデル工事の権限がない。国・県・市の発注機関	

	団体名	1. 2021年度建設キャリアアップシステムの目標 (団体としての目標内容、目標が未設定の場合はその理由)	目標 設定
24	三重県管工事工業協会	団体としての目標は、特に定めていない。 CCUSが本格運用されてから、県に工事発注などへの活用運用方針を確認してきたが、未だ動きが見られない。	
25	滋賀県空調衛生設備工業協会	会員企業に、キャリアアップシステムの導入説明を行い、システム内容を周知する。 システム導入会員企業からの運用状況を集め、その情報を精査し、未導入会員企業への補足説明内容として活用する。	
26	京都府空調衛生工業協会	*目標未設定 *理由：団体会員の企業は中小企業が多く、あまり積極的に取り組まれていない。 団体としては情報収集と必要資料の配付を実施。	
27	大阪空気調和衛生工業協会	○目標は未設定 (理由) ・当協会の会員企業における技術系社員は、主として現場の施工管理を担っており、現場作業を行う技能者を直接雇用しているケースはほとんどない。 ・令和2年12月の日空衛から各空衛協会宛の建設キャリアアップシステムの加入状況等調査における技能者の登録状況については、回答した会員企業は傘下の協力会社の技能者の登録状況を吸い上げているのが実態である。 ・したがって、技能者登録の目標については、協力会社の技能者の実態が様々である中で、各会員企業が主体的に設定することは困難なことから、団体としても目標設定はできないものとする。 ○その他 ・建設キャリアアップシステムの目的が、技能者の処遇の改善と共に地位の向上を目指すのであれば、国土交通省及び運営主体である建設業振興基金は、技能者目線に立ったより使いやすいシステムの構築や処遇の改善への具体的な方策を示し、技能者を抱える専門工事業団体の理解と協力を得ていく努力をより一層行うべきと考える。	
28	兵庫県空調衛生工業協会	当協会の会員は、地元の中小・零細企業が多く、加入手続きの手間やシステムに係る経費などの負担が課題となっている。	
29	奈良県空調衛生工業協会	特に設定していません。 会員企業に対し事業者登録の推進を行っています。 今後、県内工事物件の動向、会員企業の工事受注状況を鑑みて目標の設定を進めていきたいと考えています。	
30	和歌山県空調衛生工業協会	目標未設定 理由特になし(県工事に積極的に取組でない)	
31	鳥取県管工事業協会	協会として目標設定は、していません。建設キャリアアップシステムの紹介、だけとなっています。 (理由) 経営審査事項に申請する「能力評価結果通知書」の発行元の発行が遅れており、鳥取県(全国的)では、加点にならないため、企業側の理解が中々進みません。 (ご理解頂けますでしょうか。意味不明で申し訳ありません)	
32	島根県管工事業協会	会員の加入率50%以上	○
33	岡山市管工設備協同組合	各組合員に案内はしているがそれぞれの企業にお任せしている。 趣旨は理解できるが各社の規模や業務内容により一律には困難と考えている。	
34	広島県管工事業協会	目標は、未設定です。 少しずつではあるが、地元業者に浸透しつつあるが目標設定までは至らない。	
35	山口県管工事工業協同組合	当組合としての目標は未設定です。 理由 組合内で状況把握や協議を続けていますが、各組合員が ①導入のメリットが全く感じられない ②利用料の値上げなど、負担が増大している ③下請けに入る一人親方が多く対応が難しい などの理由で、組合として目標を設定する状況になっていないため。	
36	下関上下水道工事業協同組合	目標未設定です。 理由としては、以下の通りです。 ・協同組合としては、建設キャリアアップシステムのメリットよりもデメリットが多いと考えております。現時点では、必要性を感じていない。	
37	徳島県設備業協会	協会として登録をお願いしても目標は明確でない、民間ではあまり必要でないとの意見が多い。	
38	香川県管工事業協会	協会として、特に目標は設定しておりませんが、登録の推進指導は行っています。 【理由】 香川県内、及び四国内では、まだカード読取り機の設置されていない建設現場がほとんどで、キャリアアップ登録しても実際運用出来ない状況です。 しかし、登録技術者は以前に比べ、だいぶ増加してはおります。	

団体名	1. 2021年度建設キャリアアップシステムの目標 (団体としての目標内容、目標が未設定の場合はその理由)	目標設定
39 四国空調衛生工事業協会	当協会として目標設定はありません。各社それぞれの目標にて加入しております	
40 愛媛県空調衛生設備業協会	未設定（理事会が開催できない状況であるため）	
41 高知県設備協会	CCUSの目標未設定 当協会では正会員の25%が登録している。登録会社は、主にゼネコンやサブコンの下請をしている会社となっている。それ以外の会社は、直営での作業が多く、県市町村のCCUS利用が未定のため目標設定に至っていない。	
42 福岡県空調衛生工事業協会	目標未設定 当会の会員は半数以上が本社を他都府県に置く、「支店・支社」等の事業所である為、一律に目標を設定するのが難しい。	
43 佐賀県空調衛生工業会	目標未設定：お知らせ文書等を送るも、会員の反応がなく関心が低い。	
44 長崎県空調衛生設備業協会	・当団体としては、目標は未設定です。 (理由) 1. 会員の殆どが、国交省の発注工事に携わっていない為。 2. 大手ゼネコン、サブコンの下請工事で管理監督の立場で入場するのにカードを作っても意味がない。(技能者を対象としており、技術者の為の制度ではないにも関わらず、カード所持を義務付ける事には違和感を覚える) 3. ID利用料が高い。(下請事業者がカードの必要性を感じていない) 4. 60歳以上の新規登録は意味が無いのではないかと。(免除して欲しい。今更キャリアアップは難しいという意見有り。) 5. 窓口の電話サポートが閉鎖され、メールでの回答は1回のやり取りで2週間ほど待たされたことが有る。また、審査する方の見落としで登録迄半年かかったことも有る。 (登録に対するバックアップ体制が整っていない) 6. 申請時に添付ファイル(書類)をJPEG(ジエイペグ)形式に変換するのは面倒である。PDFで申請できるようにして欲しい。	
45 鹿児島県空調衛生工事業協会	鹿児島県内の建設キャリアアップシステムの登録については、2021年7月現在で技能者6,407人(県内建設業従事者数に対する割合:12.5%)、事業者1,076社(県内許可業者数に対する割合:19.2%)と2019年度末と比較し約3倍と公共工事を主体とする事業所を中心に増加してきているが、小規模や民間工事を主体とする事業所には後ろ向きな意見があるなど温度差があるのが現状である。 こうした中、鹿児島県土木部においては2021年度よりCCUSの活用工事が試行され、目標基準をクリアした場合工事成績評定にて加点されている。また、2022年度からは総合評価落札方式の加点項目にも盛り込まれることが発表されていることから、当協会の目標として主に県格付けAランク等の対象事業所に対して今年度中の登録並びに運用の周知等を行っている。	○
46 沖縄県電気管工事業協会	今年度中に説明会を複数回開催し、推進していく予定。CCUSにかかるコストやメリットについて情報収集している段階であり、現時点では目標は未設定である。	
	集計	6

